

高校生に伝えるプロの技

❖ 魚屋さんの調理教室

11月14日、三井中央高校で、「魚屋さんの調理教室」が行われました。講師を務めたのは市内の鮮魚店や料理人です。生徒の多くが魚をさばくのは初めて。実演を交えた指導を受け、アジやサバの三枚下ろしに挑戦し、煮付けやフライなどを作りました。

樋口ひとみさん（3年）は「骨に沿って、包丁を入れるのが難しかったです。プロの技を学べて、貴重な体験になりました」と話しました。



「包丁は押すか引くと切れる。力を入れずに」とアドバイスしながらプロの技を披露



模擬牛の乳搾り体験には多くの子どもで行列ができました

野菜も米も新鮮

❖ くるるめ農業まつり

11月10日と11日、久留米の農産物の良さをPRする「くるるめ農業まつり」が開かれ、多くの来場者でにぎわいました。

会場には新鮮な米や野菜などが販売された他、牛の乳搾り体験コーナーなどもありました。友人と毎年来ているという境智枝さん（宮ノ陣）は「散歩がてら歩いてきて、新鮮なお米や野菜を買って食事まで。毎年の楽しみです」と話しました。

30万球が夜の街を彩る

❖ くるるめ光の祭典

11月16日から、くるるめ光の祭典はとめきファンタジーが始まりました。来年1月14日（例）まで、明治通りなどが約30万球のイルミネーションで彩られます。

今年は、西鉄久留米駅東口広場のオブジェが昨年の2倍の数に。友人に誘われた田中利恵さん（福岡市）は、「去年より光の数が増えて、一段ときれい。幻想的で心が癒やされますね」と笑顔を見せました。



西鉄久留米駅東口広場は、絶好の撮影スポットです

驚きの技の数々に拍手喝采

❖ 久留米たまがる大道芸

11月17日と18日、「久留米たまがる大道芸」が開かれ、2日間で過去最高の2万1000人が来場しました。

六角堂広場や商店街などで、23組の大道芸人がアフロバットやジャグリングなどを披露し、観客を沸かせました。友人と来た井手翔太さん（東合川）は「火を噴く技はすごい迫力。また見たいです」と話しました。



炎を使った迫力のパフォーマンスに息をのむ観客

市政の動き

久留米の農をPR TVやラジオで

久留米の農産物をPRするため、テレビやラジオなどでコマーションを放送します。テレビCMはPR動画「くるるめさん・ぐるめさん」の音楽を使った15秒の映像を制作。2月末までRKB毎日放送で火曜の夕方や土曜の昼に流れます。同じ曲を使って作った20秒のラジオCMは、FM福岡で放送します。

11月20日には、大久保勉市長が大阪市中央卸売市場で農産物トップセールスを実施。今後も久留米産農産物のPRに取り組みます。

☎農政課（☎0942・30・9163、FAX0942・30・9717）



テレビCMには生産者も出演

駐輪場に平置きスペースを整備

久留米市は、東町地下駐輪場の利便性を上げるため「おもいやり駐輪スペース」を設置しました。高齢者や子ども連れの人などから、使いにくいという声があった上下2段式の自転車ラックを一部撤去。約150台が、ラックを使わずそのまま止められるようになりました。

市は今後も、駐輪場の利用促進や放置自転車の解消に取り組んでいきます。

☎交通政策課（☎0942・30・9092、FAX0942・30・9714）



チャイルドシート付きの自転車なども止めやすくなりました

11月21日、JR久留米駅で投票のお礼をするくるっば



ゆるキャラPOP 過去最高の18位

11月18日、「ゆるキャラグランプリ」の結果が発表されました。市民の皆さんの応援のおかげで、市イメージキャラクターたるくるっばが、過去最高の18位になりました。

同グランプリへのエントリーは6回目。SNSの活用や投票を呼び掛けるキャンペーンを実施するなどPRを強化しました。くるっばは、「みんなありがとうっば。もっともっと久留米の魅力発信するけん、応援よろしくばい」と話しました。

☎シティプロモーション課（☎0942・30・9228、FAX0942・30・9703）

女性への暴力根絶 マルシェで啓発

本庁舎ロビーで、11月14日、パールマルシェが開催されました。女性に対する暴力根絶のシンボル「パールリボン」の普及啓発と、女性の自立を支援する団体の活動支援を目的とした催しです。久留米餅のパールリボンや野菜、小物などが販売されました。

会場には、紫色と児童虐待防止を訴えるオレンジ色のリボンで飾られたツリーも設置されました。

☎男女平等政策課（☎0942・30・9044、FAX0942・30・9703）



お客さんとのやりとりの中で、活動の大切さなども伝えました